



市国際交流員

アメデオ・ホイシュさん 24歳
住吉町一丁目

国際交流の懸け橋を築きたい

8月4日に市国際交流員の辞令を受けたイタリアのピサ市出身のアメデオさん。イタリア語はもちろん、英語やフランス語、日本語に精通し、本市と諸外国との橋渡し役として通訳や翻訳、外国人相談窓口での対応など、幅広い業務を担う。

「高校卒業後に日本語を勉強しました。そこから歴史や文化などにも興味がどんどん湧いてきたんです。それまでも日本について、アニメなどで触れる機会が何度もあったので、自然と日本に興味を持つていたのかもしれない」

イギリスのロンドン大在学中に、留学して以来、今回で来日は6回目。日本での友人も増え、普段の会話や論文作成などで日本語もかなり上達した。

「最初の留学が終了してから、また日

本に来たいと思っていました。そこで自分の留学経験を生かして社会に貢献できる仕事はないかと探していました」

そんな中、イタリア人の国際交流員を募集していた本市に応募し採用されることとなった。

「夏の暑さと雷にはびっくりしましたが、自然も多く人も優しい前橋は、とても良いまちだと思います。特に広瀬川はお気に入りの場所なんですよ」

今後は、積極的に国際交流のイベントなどを打ち出していきたいと話す。

「市内各地を巡って料理や文化交流の講座を開催したり、お祭りなどを企画したりしていきたいですね」

アメデオさんの築く国際交流の懸け橋は、きっと素晴らしいものに違いない。



古代の歴史が息づく元総社散策

今回紹介するコースは、古代に上野国府の置かれたとされる元総社地区です。この地区では、数多くの文化財や史跡に出会うことができます。

スタートは、総社神社。上野国総鎮守といわれるこの神社の境内は、市指定天然記念物の6本の社叢ケヤキを中心多くの木々に守られています。

総社神社から西に向かうと、こちらも市指定天然記念物に指定されている樹高約28メートルの石井家のクスノキが見えてきま

す。これは江戸時代に三重県の伊勢神宮から移植されたと伝えられるもの。形も美しく大空に向かって壮大に伸びている姿に圧倒されます。

そこから北へ歩くと、上野国府の学問所跡と、御霊神社があります。周囲は、お別当の千庚申という数多くの庚申塔と豊かな緑に囲まれています。

総社神社の旧社地である宮鍋神社にも大きなクスノキが。これは、神社の神木で樹齢90年以上と言われ、樹高約20メートルです。

大きな樹木が今回のコースの目印となり、道案内をしてくれます。この約2キロのコースを、

木陰で休みながら、古代の面影に触れる散策に出掛けてみませんか。



木々に囲まれた総社神社



お別当の千庚申

クローズアップ



大自然に囲まれ夏まつり

赤城山夏まつりを8月6日・7日に開催。大沼湖畔は大勢の人でにぎわいました。コスプレ大会では、アニメのキャラクターの衣装を身にまとった出場者が登場すると観客は大喜び。夕暮れには湖面に約300個の灯籠が揺らめき、幻想的な雰囲気に包まれました。



目指せ未来のパティシエ

8月22日、パティシエ甲子園に5校7チームの高校生が参加。スポンジケーキを使った菓子作りで熱戦を繰り広げました。アイデア満載のケーキが次々に出来上がり、会場は熱気と甘い香りでいっぱい。どのチームも皆、真剣なまなざしで取り組んでいました。



まちなかで夏休みを楽しむ

8月5日から7日まで、まちなかで夏休みキッズフェスタを開催。こども科学実験教室やおやこ食育教室、おまつり木馬の作成などでの普段では味わえない貴重な体験に、訪れた子どもたちは大はしゃぎ。家族や友だちと夏休みの楽しい思い出をつくりました。



被災地の復興を願って

8月13日、前橋公園で被災地復興チャリティーイベント前橋の絆を開催。被災地支援バザーや市民イベントなどに多くの人を訪れました。植村花菜さんと根本要さんのアコースティックライブが始まると会場の熱気は最高潮に。みんなその歌声に酔いしれました。